

## にらの 1 年 1 作連続収穫技術による飛躍的単収向上技術の実証

### 要約

1 年 1 作連続収穫により、「ゆめみどり」の単収は 2 粒播き区で 3.3t/10a、3 種播き区で 3.49t/10a と対照の「ワンダーグリーンベルト」3 粒播き区より多収となった。「ゆめみどり」では茎数の増加が少なく品質を維持しやすい傾向が見られた。

### ○ 展示のねらい

ウォーターカーテン保温と点滴かん水、にら「ゆめみどり」を組合せ、1 年 1 作連続収穫作型の導入による単収向上技術を実証する。

### ○ 主な成果

- ・定植が遅れたことに加え、定植後にかん水できなかったため、供試区、対照区ともに株養成期の生育が悪く、収穫回数も計画より少ない 3 回の収穫となった。
- ・3 番刈りまでの単収は、「ゆめみどり 2 粒播き区」が 3.30t/10a、「ゆめみどり 3 粒播き区」が 3.49t/10a、対照の「ワンダーグリーンベルト 3 粒播き区」で 3.26t/10a であった。
- ・葉幅は、「ゆめみどり」「ワンダーグリーンベルト」ともに平均 10mm 以上であり、2 番刈り及び 3 番刈りでも低下は見られなかった。
- ・「ゆめみどり」については分けつを抑え品質を改善させる効果を期待して 2 粒播きの供試区を設けたが、3 粒播きと 2 粒播きの収量、茎数、AL 品率、1 茎重、葉幅について明確な差は見られなかった。

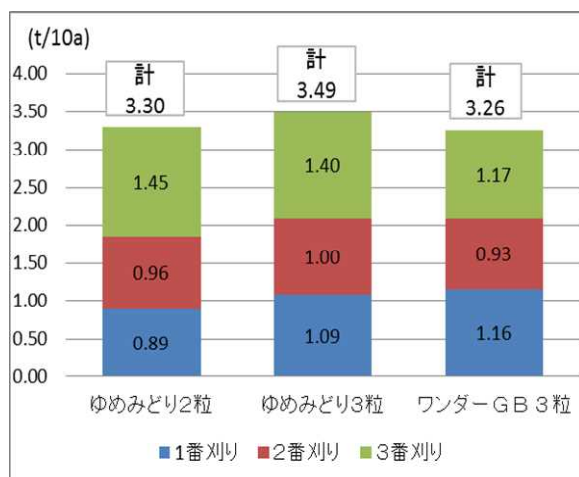


図 1 番刈り別収穫量 (t/10a)

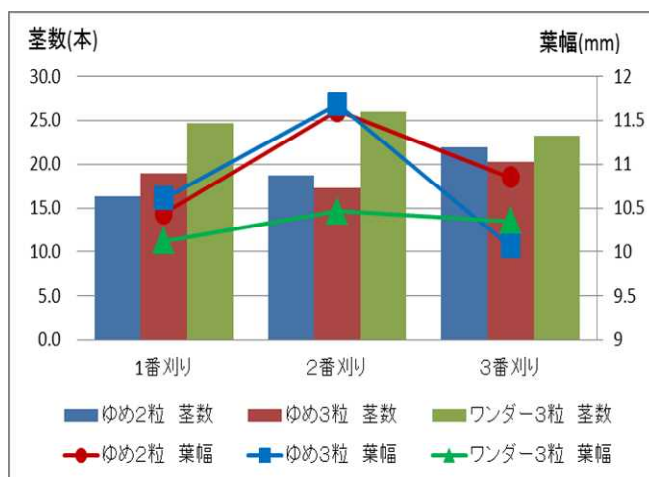


図 2 番刈り別 茎数(本)・葉幅 (mm)

### ○ 今後の方向性

適期定植、株養成期のかん水や病害虫防除を徹底し、十分な株養成を行うことを再度生産者へ周知徹底する。また、かん水設備があるほ場では、春先に株が回復し収穫を継続できるため、1 年 1 作連続収穫作型をステップアップさせた早期捨て刈り連続収穫作型として展示ほを活用して普及を図る。

実施機関：河内農業振興事務所経営普及部 実施場所：宇都宮市

問合せ先：栃木県農政部経営技術課技術指導班 TEL 028-623-2322 FAX 028-623-2315